

大会取材時における新型コロナウイルス感染予防対策

令和3年9月18日

一般社団法人日本ゴールボール協会

広報部

1. はじめに

本感染予防対策は、公益社団法人日本障がい者スポーツ協会の「広報・プレス対応における感染予防ガイドライン」を基に、一般社団法人日本ゴールボール協会（JGBA）主催大会の取材における一般メディア向けの対策事項とします。なお、本感染予防対策は、今後の状況をふまえて逐次見直すことがあります。

2. 感染防止策について

競技大会の取材において感染防止のために記者等取材者に遵守いただきたい事項は以下のとおりです。これらの内容は取材案内時に周知します。これを遵守できない取材者には、選手や他の取材者の安全を確保する等の観点から取材を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

（1）大会前の対応

- ① 大会取材を希望する際は、大会5日前までに取材申請を行い、取材同意書をメールまたはウェブで提出してください。希望者多数の場合は、取材をお断りさせていただく場合があります。
- ② 大会取材2週間前から取材当日まで、行動履歴および検温、健康状態の記録を所定の体調管理シートにて提出してください。
- ③ 以下の事項に該当する場合は、自主的に取材を見合わせること。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染者がいる、または感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ④ マスクは、各自で用意してください。（不織布マスクのみ。その他は不可とします。）
- ⑤ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。

（2）大会当日

- ① 発熱・体調不良等の自覚症状がある場合、同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合は、大会会場への来場をご遠慮ください。
- ② 各社必要最低限の来場とします。事前に取材申請のない方は入場できません。
- ③ 選手・スタッフと取材者の導線を分けます。

（3）大会当日受付

- ① 指定出入口で体温測定を行い、発熱（37.5 度以上）確認時は入場不可とします。
- ② 軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は入場できません。
- ③ 手指消毒をお願いします。
- ④ 入場前からマスクを常時着用するようお願いします。
- ⑤ 受付に並ぶ際は、距離をおいて（最低 1 m）並んでください。（目印の設置等）

（3）取材中

- ① 取材中は、常時マスク着用を必須とし、適宜うがい・手洗い、手指消毒を行ってください。
- ② 取材中は、各自持参する取材用ビブスと AD カードを着用してください。

（4）撮影エリア

- ① 指定場所以外での取材・撮影は不可とします。
- ② 撮影エリアは、オフィシャルテーブルと反対側の 1 辺とします。ゴール裏、ベンチ裏の撮影はできません。

（5）記者席

- ① 密を避けるため、エリア内の人数を制限します。
- ② 座席は、隣との間を 1 席開けるようにしてください。

（6）ミックスゾーン

- ① 選手・チームスタッフ等に取材を行う際は、ミックスゾーンのみでお願いします。
- ② インタビューは、マスクとフェイスガード着用を必須とします。また、2m 以上のフィジカル・ディスタンスを保ってください。
- ③ インタビュー対象者のマスク着用については状況に応じて判断します。
- ④ 取材者同士のフィジカル・ディスタンスを十分に確保してください。

（7）記者への情報提供・連絡

- ① リザルト・スタッツの提供は、会場で掲示するほか、ウェブサイトに掲載します。接触を避けるため、紙による配布は行いません。
- ② 人数制限のため大会会場で観戦できない場合は、YouTube 配信をご覧ください。

（8）個別取材

- ① 原則として、個別取材は受け付けません。

（9）その他

- ① 大会会場や公共の場におけるウイルスや飛沫が付着した可能性があるゴミ類（マスク、ティッシュペーパー、紙類、ペットボトル等飲食に使用した容器や包装、カトラリー等）の放置・廃棄禁止、密閉の上、持ち帰りを徹底してください。

(10) 大会事後

- ① 取材者・撮影者が陽性判定および濃厚接触(疑い)の場合は、保健所と医療機関の指示を仰ぎ、速やかにJGBAへ連絡してください。
- ② 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、取材当日に取材者より提出を求めた情報(前記)について、保存期間(少なくとも1か月以上)を定めて保存します。

以上